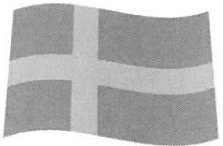




一般社団法人 日本障害者カヌー協会 機関紙

パラマウント通信

2018/12/27
来年もカヌーやるぞ!号
No. 76



国際カヌー連盟のパラカヌー国際会議のプレゼンテーションに参加してきました

2018年10月5日～7日にスウェーデン スtockホルムで開催される国際カヌー連盟のパラカヌー国際会議に、日本障害者カヌー協会のプレゼンが選ばれ、吉田義朗会長と、上岡央子事務局長がプレゼンしてきました。

テーマは「レクリエーションとリハビリテーション」。テーマに沿った各国の取り組みを発表し合い国際的に障害者のカヌーに取り組んで行く事を目的とした国際会議です。

プレゼン内容としては、日本障害者カヌー協会設立の1995年からたくさんの障害者と健常者が一緒になって楽しんできたレクリエーションの取り組み。それと最も大切な障害者自身が主体となっている団体である事とその主体となってきた取り組みを英語でプレゼンしてきました。

プレゼンは大成功。大きな拍手をいただけ、さらにはコーヒーブレイクですれ違った際に「great presentation!」とか「What I was interested in.」とか声かけて頂きました。プレゼン内容を全文載せさせていただきます。



川の上に浮かんだときの自由さは、とても素晴らしいものでした。この素晴らしさを、多くの障害者に伝えたいと心から思い、1995年日本障害者カヌー協会を設立し、公の活動を開始し、今に至ります。2010年、初めて、パラカヌー世界選手権に日本選手を派遣しました。2016年のリオパラリンピックに出場。2020年の東京パラリンピックに向けて、日本の選手を増加しトレーニングに励んでいます。

次に、我々のビジョンを紹介したいと思います。我々のビジョンは「Let's out on The Water!」です。そして、これがロゴマークです(日本障害者カヌー協会のロゴマークが映し出される)。カヌーにはいろいろな

日本障害者カヌー協会会長の吉田義朗です。今日は貴重な時間をいただき、ありがとうございます。日本における障害者カヌーの取り組みと、今後の課題について話をします。

はじめに少し私どもの自己紹介をさせていただきます。私は、20歳の時に事故によって障害者となりました。それまで、歩く、走るということが当たり前でした。ところが、医者から「もう歩けない」と宣告されました。それまで歩けなくなるなんて考えてもいなかった自分にとって、とてもショックな出来事でした。

1991年、障害者となって10数年が経過したころ、日本で初めて障害者向けのカヌー体験会が開催され、そこで私はカヌーに出会いました。

形があります。同じように人間も様々です。どのカヌーで楽しむのかは自分で自由に選択することができます。カヌーは誰もが思う方向に、段差や坂道を感じることなく自由に進むことができます。そして、同じ目線にたつて世界を見ることが出来ます。「水の上は究極のバリアフリー」なのです。これがカヌーの一番の魅力です。カヌーは、アスリートだけのスポーツではありません。カヌーに乗って水の上で浮かぶことが大きな一歩につながる、この思いをこのビジョンに込めました。

多くの障害者にカヌーの楽しさを知ってもらうための普及活動(活動指針)には3つのポイントがあります。

1. カヌーが身近なスポーツであることを知ってもらうための情報発信
2. 多くの障害者に、カヌーが体験できる場を作ること
3. カヌー体験会のサポートができるスタッフを増やすこと

今日はサポートスタッフを増やすための活動の一つ、スタッフ講習会を紹介いたします。ここからは、日本障害者カヌー協会 事務局長 兼講習会講師を務める上岡央子さんに話をしてもらいます。(話し手が上岡さんに代わる)

では、我々の活動であるパラカヌー ボランティア講習会について詳細を紹介したいと思います。

形があります。同じように人間も様々です。どのカヌーで楽しむのかは自分で自由に選択することができます。カヌーは誰もが思う方向に、段差や坂道を感じることなく自由に進むことができます。そして、同じ目線にたつて世界を見ることが出来ます。「水の上は究極のバリアフリー」なのです。これがカヌーの一番の魅力です。カヌーは、アスリートだけのスポーツではありません。カヌーに乗って水の上で浮かぶことが大きな一歩につながる、この思いをこのビジョンに込めました。

多くの障害者にカヌーの楽しさを知ってもらうための普及活動(活動指針)には3つのポイントがあります。

1. カヌーが身近なスポーツであることを知ってもらうための情報発信
2. 多くの障害者に、カヌーが体験できる場を作ること
3. カヌー体験会のサポートができるスタッフを増やすこと

今日はサポートスタッフを増やすための活動の一つ、スタッフ講習会を紹介いたします。ここからは、日本障害者カヌー協会 事務局長 兼講習会講師を務める上岡央子さんに話をしてもらいます。(話し手が上岡さんに代わる)

では、我々の活動であるパラカヌー ボランティア講習会について詳細を紹介したいと思います。

講習会は、4時間程度の3部構成になっており、座学、実技、ワークショップの3つのパートに分かれております。各パートの詳細を、まずは講習会から紹介します。

お手元にある資料は、私たちが講習教科書として使用しているものです。本日は詳細の全てをご説明する時間はありませんので、後ほどご覧いただいで、詳細をご確認いただければと思います。

講義は、おおよそ1時間かけて実施され、表示の5分野に関する理解を図り、カヌーの魅力だけでなく、障害や介助方法に関する知識、競技に関する知識を提供します。講義後、実際に1時間ほどサポートの実技経験を積んでもらいます。障害当事者(会長)がモデルとなり、基本的な車いすからカヌーへの移乗方法、サポート方法、その際障害当事者とのコミュニケーションが重要であることを伝えます。移乗した後は、障害特性によって姿勢の維持が困難なケースを紹介し、障害の理解を促進するとともに安全面の確認をします。その後、水上に出てカヌーを存分に楽しんでもらいます。

新しい取り組みとして2017年度からレクリエーションカヤックに加え、競技用カヌー艇を体験会に取り入れました。参加者に競技用カヌー艇を体験できる機会を提供できるようにしました。この体験を通して、よりパラカヌーへの関心が深まることを期待しております。講習会だけでは十分ではないため、実技後に1

時間程度のワークショップ形式を取り入れて、障害や障害者のサポートについての理解を深められるようにしています。

講習を受けた

参加者を5名程度のグループに分けます。1名が実際に障害者という設定をし、他の4名がその人に対してカヌー乗艇までのサポートを行います。スタートはグループの様子をうかがいながら、アドバイスやヒントを与えます。一連のサポートを終えた後にグループの代表者に発表してもらいます。例えば、「どこに配慮しましたか?」という質問を投げかけ、「安全を考慮してどのように工夫したかという点」、「障害特性上、特に留意した部分」などを聴き出します。その発表を聞きながら、それぞれのグループのサポートとその判断についてディスカッションを行います。



こちらのグラフは、体験会と講習会の参加者数の推移を示しています。1995年から、協会の拠点であった関西地区で講習会と体験会を毎年3か所5か所で開催してきました。体験会参加者数、総計120人に達する会もありました。この他にも、小学校などへ福祉教育として講義を行い、一緒にカヌーを楽しんだ小学生は約300名を数えました。2020東京パラリンピックを機会として、日本各地で障害

者カヌーの認知度が高まってきたことで自治体などから講習会の依頼が増えたことがきっかけとなり、1回の講習会の参加者数が増え、活動も全国規模に広がりました。

1995年から体験会という活動を通して、障害の種類を問わず、まずは、カヌーの楽しさを伝えるために活動をしてきました。障害者に必要となるサポートが提供できる人を増やすために講習会も始め、結果的に障害の有る無しに関わらず、すべての人にカヌーの素晴らしさを伝える取り組みへと変化してきました。これら普及活動から、競技としてのパラカヌーを知って自分の可能性へチャレンジしたいとパラカヌー選手になった方もいます。今の競技人口の半数がそうであり、トレーニングの傍ら、体験会にも参加してカヌーの楽しさと、競技カヌーへの可能性を伝える活動を行っています。

また、一方で、我々が直面している改善しなければならぬ課題というものもあります。日本は美しい海に囲まれ、多くの湖や川があります。しかし、カヌーの環境に関しては限られているのが現状です。国内には水の上での活動が危険であるというイメージを持つ人もおり、水面の管理者によって障害者がカヌーを楽しむ事が許可されない事もあります。私たちは、3つのことを改善施策として考えます。

1. 意識を変える

カヌーは障害者もできる身近なスポーツであること。スポーツを楽しむ事は

自由であるという意識を定着させます。

2. 環境を変える

日本各地のカヌー競技場や練習場川や湖などに障害者でも気軽にカヌーができるよう環境整備を呼びかけていきます。対策として、2018年4月に新たな拠点として Canoe Base For Challenged を都内近郊に設けました。バリアフリー環境も整備し、すべての人にカヌーを楽しむ場を提供しています。

3. ルールを変える

日本は障害者をとりまく法制度の整備が遅れています。カヌーを通じて、障害者の自立支援につながる環境整備を後押ししたいと考えています。もうひとつ、パラカヌーのクラス分けについて、よりたくさんの方々が参加できる形へと変えて行くことを提案していきたいと考えています。

最後に、この会場に障害を持つ人は、何人いるのでしょうか? 私達は、障害を持つ当事者自身の声が届き、反映されることこそが今後のカヌー界にとつて最も必要なことであり、そのことが求められていると思っております。本日はありがとうございました。





NAGOYA

数年ぶりに名古屋パラへ行ってみた!



名古屋パラ参加者
まつい ひろき
松井 大樹

2018年6月24日名古屋市障害者スポーツセンターでパラマウントチャレンジカップin名古屋が開催されました。今回は、久々参加の松井大樹さんからのレポートをお送りします。

名古屋パラにボランティアスタッフとして数年ぶりに参加させていただきました聴覚障がい松井と申します。数年前に関西方面の各地のパラでスタッフとして活動していましたが仕事や家庭の都合で数年遠ざかっていましたがようやく仕事も家庭も落ち着いたこともあり、今年は参加することができました。

午後からは参加者もカヌーに慣れてきたようので、上手にパドルを操ってスイスイと進む子、思い通りに行けず同じところをクルクル回る子、身をカヌーに委ねてプカプカと浮いている子、いろいろでしたが参加者達それぞれの楽しみ方があり、水の上を進む気持ちよさ、楽しさを満喫することができました。笑顔振りまく参加者達を見て我々スタッフも疲れが吹き飛ば思いました。

最後に競技が始まり、練習では思い通りに行きたい方向に行けたのに、競技になると緊張から上手に進めず悔しがる人もいれば、最後の最後で何とか上手になっ

て喜ぶ人もいました。午前は、パドルの持ち方から始めて漕ぎ方、曲がり方、止め方など基本動作のレクチャーが

私がパラに参加して思うことは、障がいの有無や上手、下手に関係なく全員が「楽しむぞ!」と白いことをするぞ!という気持ちをもって全力で楽しんでくれること、素晴らしいです。参加する度に私を成長させてくれるパラには本当に感謝です。



皆さんも、ぜひパラに参加してみませんか?

追伸

実行委員の皆さん、スタッフの皆さん、突然の飛び入り参加をしたにもかかわらず温かく迎えていただきました。ありがとうございました。

貸借対照表
平成30年3月31日現在

一般社団法人日本障害者カヌー協会 (単位:円)

科目	当年度	前年度	増減
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	3,304,879		
流動資産合計	3,304,879		
資産合計	3,304,879		
II 負債の部			
1. 流動負債			
未払金	2,730,484		
仮受金	538,185		
預り金	65,107		
未払法人税等	64,100		
流動負債合計	3,397,876		
負債合計	3,397,876		
III 正味財産の部			
1. 一般正味財産	△ 92,997		
正味財産合計	△ 92,997		
負債及び正味財産合計	3,304,879		

(注) 設立初年度のため前年度欄及び増減欄に記載すべき金額はない。



事務局ニュース
Vol.04

今年度のパラマウント・チャレンジ・カヌーは、の愛媛、京都、奈良、兵庫の大会が台風に伴う増水や悪天候により中止になりました。今号では関東での活動が中心になりますが行われた活動をお伝えさせていただきます。

また、75号のパラマウント通信の「年次総会報告」で29年度の決算報告書が載せられていましたので、今号に記載させていただきます。

財務諸表に対する注記

1. 重要な会計方針

(1) 消費税等の会計処理
税込方式による。

2. 補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高

補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高は、次のとおりである。

(単位:円)

補助金等の名称	交付者	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高	受取財源上の記載区分
パラサポ助成金	公益財団法人 日本財団 パワリンピックサポートセンター	-	11,741,071	11,741,071	0	-
J P C 助成金	公益財団法人 日本障がい者スポーツ協会	-	19,714,014	19,714,014	0	-
合計		0	31,455,085	31,455,085	0	

正味財産増減計算書

平成29年4月3日から平成30年3月31日まで

一般社団法人日本障害者カヌー協会 (単位:円)

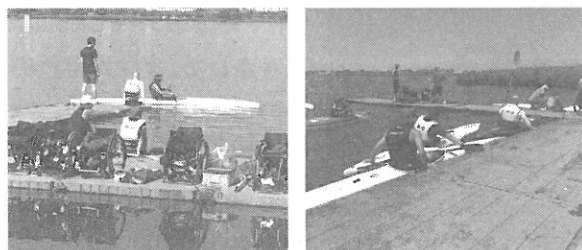
科目	当年度	前年度	増減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
① 助成金収入	(31,455,085)		
② 会費収入	(1,234,571)		
③ 寄附金収入	(1,375,400)		
④ 雑収益	(20,096)		
受取利息	96		
雑収益	20,000		
経常収益計	34,085,152		
(2) 経常費用			
給料手当	7,599,960		
法定福利費	1,148,466		
外注費	6,322,371		
通信費	200,047		
荷造運賃	346,304		
旅費交通費	15,179,945		
広告宣伝費	988,450		
接待交際費	8,000		
事務用品費	182,432		
消耗品費	494,641		
修繕費	66,000		
保険料	166,810		
租税公課	61,500		
議会費	105,000		
支払手数料	185,468		
賃借料	872,381		
雑費	188,274		
経常費用計	34,114,049		
当期経常増減額	△ 28,897		
税引前当期一般正味財産増減額	△ 28,897		
法人税、住民税及び事業税	64,100		
当期一般正味財産増減額	△ 92,997		
一般正味財産期首残高	-		
一般正味財産期末残高	△ 92,997		
II 正味財産期末残高	△ 92,997		

(注) 設立初年度のため前年度欄及び増減欄に記載すべき金額はない。

パラカヌー強化育成合宿が行われました

2018
8/3~5

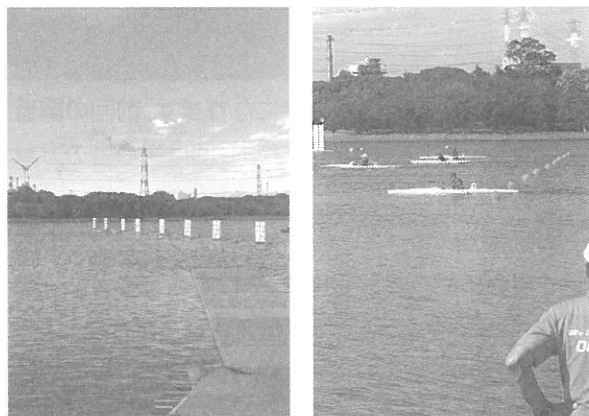
8月3日～5日石川県、NTC木場漕カヌーセンターでパラカヌー強化育成合宿が行われました。新しい仲間も集まり、選手たちは3日間みっちり練習。それぞれの課題も明確になり実りある合宿になりました。合宿の運営も含めて、まだまだ多くの課題を抱えています。ですが確実にカヌーの広がりを感じます。



関東スプリント選手権大会でパラカヌー競技を開催致しました

2018
7/8

7月8日茨城県神栖市のカヌー競技場で関東スプリント選手権大会 兼 いきいき茨城ゆめ国体カヌースプリント競技リハーサル大会が行われ、パラカヌーはオープン参加で200m競技を開催致しました。



東京2020大会2年前イベントにパラカヌー小山選手と参加してきました

2018
8/25

8月25日東京2020大会2年前イベント「Tokyo 2020 2 Years to Go!」が東京都江東区MEGA WEBで行われ、パラカヌーも参加してきました。



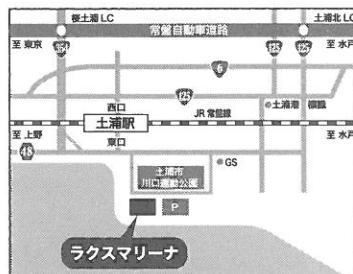
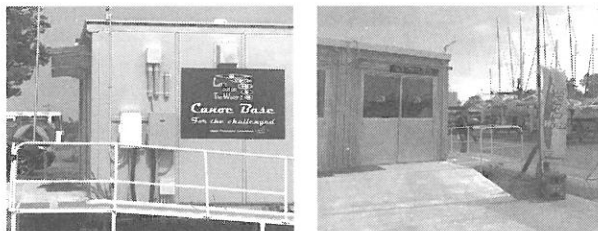
イベントではパラカヌー小山真選手がステージで他の競技選手とそれぞれの競技の魅力を伝えて下さり、会場には小山選手のカヌーも展示させて頂きました。



霞ヶ浦の艇庫にスロープが付きました

NEWS

霞ヶ浦にある日本障害者カヌー協会の拠点艇庫に、念願のスロープと看板が付きました。私たちの拠点艇庫は、日々進化しております。ぜひ現場に足を運んでください。連絡お待ちしております。



障害者カヌー拠点 所在地

株式会社ラクスマリーナ
〒300-0033
土浦市川口2-13-6
〈連絡先〉
(一社)日本障害者カヌー協会
TEL: 03-6229-5440

パラマウントチャレンジカヌー
サポーター講習会が
開催されました

2018
10/22



10月22日宮城県加美町からの委託事業「パラマウントチャレンジカヌーサポーター講習会」が鳴瀬川カヌー競技場で開催されました。

講習会は、年間3回で1回はプールでの講習会になります。前回の講習会はカヌー経験者対象ですが、今回は初心者の方対象の講習会になります。

講習会の内容は10月のJAPANプレゼンでの内容で協会の成り立ちや理念。そして障害者カヌーのサポートの前に大切な事を伝えさせて頂きました。

最後の講習会は12月のプール講習会、次号で様子をお伝えさせて頂きます。

パラマウントチャレンジカヌー
in 山形が開催されました

2018
9/23・24

9月23日、24日山形県寒河江市、グリバーさがえでパラマウントチャレンジカヌー in 山形が開催されました。山形県で初めてのパラチャ開催です。



23日はパラスポーツカーニバルが開催されました。ブラインドサッカー、パラトライアスロン、パラカヌーが楽しめるイベントで、パラカヌーも参加してきました。夜は大自然の中のキャンプ交流会。24日は最上川を30人程度でのツーリングを楽しみました。

パラカヌー韓国交流合宿が
開催されました

2018
11/2~4

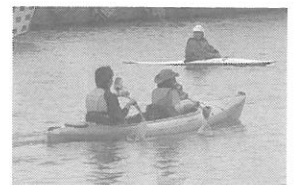
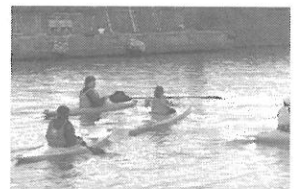
11月2日~4日木曾三川長良川サービスセンターで「パラカヌー育成合宿兼パラカヌー全国長距離大会」が開催されました。今回は韓国チームも参加し、初の交流合宿となりました。



誰でも楽しもう霞ヶ浦
体育の日大会が開催されました

2018
10/15

10月15日茨城県土浦市ラクスマリーナで誰でも楽しもう霞ヶ浦体育の日大会が開催されました。曇り空で雨がときおり降る中でしたが、新し参加者もありみんな笑顔で終える事が出来ました。





**カヌースプリント・パラカヌー
世界選手権大会2018
inポルトガル**



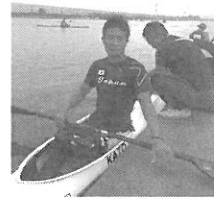
8月22日
〜26日ポ
ルトガルのモ
ンテモルで
カヌースプ
リント・パ
ラカヌー世
界選手権大
会が開催さ
れました。日

本からは6名の選手、8名のスタッフが参加しました。この大会のトップタイムが2019年の海外派遣選考基準となります。世界の壁はまだ高い事を再確認させら



れる大会になりましたが、日本の選手たちは確実に記録を伸ばし成長しています。

新しく作り直した日本代表のユニフォームがとてもかっこ良かったです。



リザルトはこちら

**平成30年度日本パラカヌー
選手権大会兼2019
カヌースプリント・パラカヌー
海外派遣選考1次選考会**

9月5日〜10日石川県小松市木場潟カヌー競技場で平成30年度日本パラカヌー選手権大会兼2019カヌースプリント・パラカヌー海外派遣選考1次選考会が開催されまし

た。

大会は午前1レースは行われましたが悪天候のために、残りのレースが中止になりました。自然環境が重要なカヌー競技を改めて実感した大会になりました。



午前1レースのリザルトはこちら

第3回アジアパラカヌー選手権

10月20日〜21日ウズベキスタンのサマルカンドで第3回アジアパラカヌー選手権が開催されました。日本からは5人の選手が参加いたしました。アジア選手権大会はまだ3回目となっており、大会運営体制が良くありません。今回も、会場に多目的トイレがない、桟橋と水面の距離が高い、借艇が回ってこなく装備の調整が出来ないまま、十分な調整の練習が出来なかつたりと、とてもいい環境といえない大会でした。しかし、これらはアジアの社会環境が影響して

いると考えています。選手達は出場した後、それら環境についても事務局に報告してくれました。



撮影：楢館トレーナー

リザルト

パラカヌー男子 VL2 200m

氏名	タイム
加藤 隆典	1'15"867

パラカヌー女子 KL3 200m

氏名	タイム
加治 良美	57"523

パラカヌー男子 VL3 200m

氏名	タイム
辰己 博実	1'01"400
小山 真	1'13"910

パラカヌー男子 KL2 200m

氏名	タイム
加藤 隆典	1'06"098

パラカヌー男子 KL1 200m

氏名	タイム
高木 裕太	1'04"671

パラカヌー男子 KL3 200m

氏名	タイム
小山 真	56"714
辰己 博実	58"824

イベントカレンダー

詳細、更新情報は協会HP
イベントカレンダーをご覧ください



開催日	イベント名	開催地
7月14日(日)	パラマウントチャレンジカヌー in 京都	京都府
9月29日(日)	チャレまる(パラマウントチャレンジカヌー in 円山川)	兵庫県
1月25日(金)~27日(日)	パラカヌー強化・育成合同合宿	東京都
2月23日(土)~24日(日)	パラカヌー第2回クラス分育成講習会	茨城県
3月1日(金)~3日(日)	パラカヌー強化合宿	香川県
3月27日(水)~31日(日)	パラカヌー世界選手権派遣選手選考会	香川県

東京2020パラリンピック 競技スケジュール決定

東京2020パラリンピック競技大会は、22競技540種目が21会場で実施され、史上最多4400人の選手による戦いが、2020年8月25日開会式から9月6日の閉会式まで12日間にわたり繰り広げられます。パラカヌーは9月3日~5日です。今から手帳にチェックを入れておいてください。

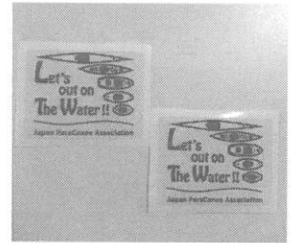


パラリンピック競技スケジュール

<https://tokyo2020.org/jp/games/schedule/paralympic/>

新シールが出来ました!

2019年4月からの新年度の継続会員様にプレゼントします。4月から始まる年会費2000円を納入してくれた方から随時、会員証に張り付ける2019シールと一緒に送ります。また新規会員様も募集、ステッカーを欲しいとかいいなって声があったら、ぜひご紹介下さい!(このステッカーは、パラリンピックサポートセンターの助成金により作製致しました。)



(一社)日本障害者カヌー協会 から会員募集のお知らせ

(一社)日本障害者カヌー協会では、一人でも多くの方に、協会に協力いただきたいと願っています。会員になる資格は特にありません。障害の有無は関係ありません。協会主旨に賛同いただければどなたでもOK。入会にあたっては、入会金はございませんので、年会費2000円を振り込み頂き、協会ホームページから入会申込書をダウンロードして頂き、必要事項を記入して協会事務局宛に郵送をお願い致します。

事務局
連絡先

〒107-0052
東京都港区赤坂1-2-2 日本財団ビル4階
(一社)日本障害者カヌー協会
電話 03-6229-5440

編集人

〒630-0201 奈良県生駒市小明町493-17 吉田義朗 方

会費
振込先

*郵便振替です
〈加入者名〉 一般社団法人日本障害者カヌー協会
〈口座番号〉 01020-7-12908
*他金融機関からの振込口座番号
一〇九(イチゼロキユウ)店(109)当座0012908

ホームページ: <http://www.japan-paracha.org/>
協会へのご連絡、お問合せは、ホームページの「協会への問合せ」からお願いします。



編集後記

世の中は、東京パラリンピックモードですが、大阪万博モードもいいかなと思っています。カヌーに乗って海から万博会場見物もありですよ!(さいと一)

今年は、悪天候により、多くのパラチャが中止になってしまいました。来年は、各地のパラチャで、皆さんの笑顔に逢える様、初詣で、しっかりお願いしてきますね~!
(とほほのみやざき)

子どもが、もうすぐ2歳になります。誕生日プレゼントはライフジャケットかなと、親子で乗るカヌーを楽しみに日々過ごしています。
(マコト)

